



第94号

令和3年(2021年)

2月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

コロナ禍での主な審議

家庭、事業所等への支援策は何か 2～4p



第4回定例会

主な審議・補正予算・賛否一覧

2～4p

ここが聞きたい! 一般質問

5～11p

常任委員会報告

12～14p

一部事務組合・議会研修会

15p

古賀市議会



写真: 新型コロナウイルス感染拡大防止として、母校の中学校で開催された成人式。

77号
議案

地方税法改正による影響をなくすため 古賀市国民健康保険税のしくみの一部改正

令和3年1月1日施行の税制改正で、給与所得者や公的年金受給者は、それぞれ給与所得控除、公的年金控除が10万円引き下げられるのに対し、国民健康保険税の基礎控除が10万円引き上げられることから、課税所得はプラスマイナスゼロであり、影響はありません。しかし、特定の会社や団体に所属していないデザイナーやプログラマー、カメラマンなどのフリーランスの方はもともと給与所得控除や公的年金等控除がないところで、基礎控除が10万円引き上げられることから、今回の改正により減税となりえるもの。



主な
審議

第4回
定例会
(11月30日～12月16日)

付託▽

市民建産委員会

賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

78号
議案

古賀市子ども医療費の一部が変わります

中学生の通院費も助成

従来の制度では入院以外の場合に支給がなかった「中学生子ども」に対して、福岡県の制度改正に合わせて、ひと月の自己負担上限を1,600円として入院以外も支給します。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

88号
議案

小・中学校にICTの環境整備を

小・中学校に大型モニター等の購入

古賀市立小・中学校のICT環境整備のため、一般競争入札で決定した業者から、大型モニター等(画面サイズ65型、解像度4K)、キャスター付きスタンド241台を購入します。

なお、安全面や車いすに座ったままでも利用できるように配慮したものになっています。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

87号
議案

古賀市農業委員会の委員について

認定農業者等の割合が変わります

農業委員会の農業委員の割合は、認定農業者が過半数ですが、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより減少していることから、認定農業者等またはこれらに準ずる者の割合を過半数要件の例外規定を適用し、4分の1(4人)以上とするもの。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

92号
議案

中村哲医師のモニュメント設置の推進は

「古賀市名誉市民 中村哲医師の功績を称えるモニュメントの設置を推進する決議」について議員提案がありましたが、議員間での討議がなされていないことから、議会の意思の表明とされる「決議」とはし難いこと、また、地域の他の取り組みもあることも考慮し、時期尚早との反対意見もあり、否決となりました。

本会議
賛成少数
否決

93号
議案

令和2年度一般会計補正予算(第7号)追加

ひとり親世帯臨時特別給付金(再支給)

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に、臨時特別給付金の支給を再度行うもの。

本会議
賛成全員
可決

81号
議案

86号
議案

今年度6回目の補正予算審査

新型コロナウイルス感染症の対応策も

今回は、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電子図書館サービスや、聴覚障がい者等を対象とした遠隔手話通訳サービスの導入などを含め、補正予算総額 **4億3,083万円** についての審査が行われました。

補正予算

(12月9日)

第4回 定例会

特別会計

国民健康保険

5,004万3千円を追加
国保システム改修委託料等

後期高齢者医療

153万1千円を追加
後期高齢者医療保険料システム改修委託料等

介護保険（保険事業）

297万8千円を追加
介護保険システム改修委託料等

介護保険（介護サービス事業）

6万6千円を減額
職員人件費

水道事業

会計（収益的収支） **985万6千円を追加**

下水道事業（収益的収入） **1,086万8千円を追加**

会計（資本的収支） **8万8千円を減額**

一般会計
賛成多数
可決
特別会計
賛成多数
可決

補正予算
ピックアップ

電子図書等の追加 773万3千円

感染拡大防止でも本を借りて読むことができる

新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい生活様式」を踏まえ、インターネットを通じて自宅等から電子書籍が閲覧できるようにするものです。



補正予算
ピックアップ

タブレット端末購入費等の追加 45万7千円

遠隔手話通訳サービスの導入

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、聴覚障がい者等に同行しなくとも、手話サービスを受けられることができるよう、遠隔手話サービスを導入します。

補正予算
ピックアップ

高齢者インフルエンザ予防接種委託料の増 1,218万3千円

インフルエンザ予防接種希望の高齢者支援

高齢者のインフルエンザの予防接種希望者の見込み増により、予防接種委託料を増額します。高齢者は無料で予防接種を受けることができます。

補正予算
ピックアップ

災害の復旧工事の追加 1,790万1千円

7月豪雨による道路復旧工事

7月豪雨により被災した太郎丸熊鶴線の災害復旧工事の追加。



補正予算
ピックアップ

その他 新型コロナウイルス感染症の影響による

生活保護扶助費
1億7,084万9千円 増額

就学援助費 **516万円 増額**

令和2年 第4回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和2年11月30日~12月16日

号数	議案名	結果	奴間健司	福崎トシオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠視	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
75	古賀市一般職の職員の給与に関する条例及び古賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	古賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	古賀市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	古賀市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	古賀市水道事業の設置等に関する条例及び古賀市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和2年度古賀市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和2年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和2年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和2年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	令和2年度古賀市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	令和2年度古賀市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	古賀市農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすること	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	古賀市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	古賀市名誉市民 中村哲医師の功績を称えるモニュメントの設置を推進する決議	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	令和2年度古賀市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否一覧

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 ◻は議員提出議案

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

異常気象と災害の関係をどう思うか	井之上 豊	6ページ
①市の施策すべてに子ども中心の視点を ②西鉄宮地岳線跡地の道路化は必要か	内場 恭子	6ページ
子どもの健やかな育ちのために	紙谷 由香	7ページ
①安全で安心して使い続けられる公共施設に ②新型コロナウイルス感染症による雇用縮小への対応と学びへの支援を ③平和を願う心を育て継承を進めるために	田中 英輔	7ページ
市の観光事業の推進と地域活性化について	古賀 誠視	8ページ
①防風保安林の公有化 ②市役所特設の分別収集 ③韓国・新羅時代の調査研究と文化交流	吉住 長敏	8ページ
古賀市の農業振興について	中野 敦史	9ページ
①持続可能な地域公共交通について ② JR 千鳥駅の利便性向上と周辺整備について今後の取組は	村松 謙二	9ページ
①「香害」による健康被害を防ぐ対策を ②子どもたちの命を守り、育ちを支える「チルドレン・ファースト」のまちへ	伊東 洋子	10ページ
JR 古賀駅西口エリアの本質的再生について	福崎トビオ	10ページ
「快適安心都市 こが」へつなぐには	平木 尚子	11ページ
SDGs 達成に貢献できる古賀市の強みを発揮するために	奴間 健司	11ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

異常気象と災害の関係をどう思うか

答 市民の生命財産を守ることは重要

議員 気候変動に対する市の対策は。また、温室効果ガスの削減について、どう取り組むのか。

市長 気候変動に対処し、市民の生命財産を将来にわたって守り、持続可能な社会を実現するために温室効果ガスの排出を削減させる「緩和策」とその影響に備える「適応策」のどちらの取り組みも重要であると考えている。気候変動に関連するこれまでの主な取り組みは、グリーンカーテン講座、うちエコ診断会、啓発パネル展、4Rを推進などの啓発運動のほか、市の事業により発生する温室効果ガス排出量を抑える「緩和策」に重点をおいて、推進を行っている。

議員 近年、台風や集中豪雨によって、浸水や土砂崩れなどの被害に遭うケースが全国で相次いでいることを踏まえ、検討を行ったことがあるのか。

市長 毎年の豪雨災害の激甚化、頻発化が指摘されている。このような状況から水防法が改正され、洪水や高潮の浸水想定区域が想定し得る最大規模の洪水や高潮に係る区域へと変更された。これを受け、玄界灘沿岸高潮浸水想定区域の策定と大根川水系洪水浸水想定区域の見直しを行っている。市ではこれらの新しい想定に基づいた総合防災マップの見直しと、電子化を実施中であり、来年度中に総合防災マップの配布を行う予定としている。

集中豪雨で氾濫寸前の河川



内場 恭子

狭い道路・危険な通学路の整備改良を優先に

答 結論を出さずにきた姿勢を改めるべき

議員 西鉄宮地岳線跡地(以後は跡地)を道路化すると交通量増、騒音、環境の変化がある。考えは。

市長 新しく道路を整備すれば交通量増が想定される。周辺環境の変化や交通安全対策などは、地域住民の意見も聞き、詳細設計で対策を考えながら進める。

議員 交通量調査データはあるのか。

建設産業部長 平成24年の資料。今後調査は詳細設計で行う。

議員 跡地を道路にすれば多くの車の通行が予想され、影響が出るが。

建設産業部長 生活道路に車を入れないこと、495号線に逃がすことが大切。

議員 跡地の道路化が先か、生活道路に入り込む車や495号線に車を誘導する道路の整備が先か。

市長 福津からの車が流入する花見佐谷線の整備を先行させ、跡地車道を含む整備が基本姿勢だ。

議員 跡地を道路にしても、古賀西入

り口交差点で495号線に出る

小周辺に入り込む。まず、学校周辺の狭い道路改善、危険な通学路の整備改良が必要だ。

市長 今まで結論を出すのを避けてきた政治と行政が姿勢を改めるべき。強い決意で整備を進める。

議員 道路行政について考え直す時代ではないか。子どもたちの未来に何を残すか、考えるのが市長の仕事だ。

※その他の質問

子どもの参加する権利や意見の尊重を守る古賀市に

西鉄跡地を道路にすれば交通量増加

平成24年の交通量調査	1日当たりの台数
495号線を通過する車	約20000台
花見南方面から中川地区を通過する車	約1100台
中川交差点に出てくる車	約3800台
西小学校周辺に入り込む車	約1700台
古賀西小入り口交差点を通過する車	約2800台



紙谷 由香
(市民クラブ)

子どもの健やかな育ちのために

答 支援の入り口を確保することが大事

議員 子どもの未来応援プランのアンケート結果から、支援が必要な

ところが届くような周知が必要ではないか。

市長 発信する努力は当然であり、皆

さんと一緒に考えていくという場をたくさん作っていくといった子どもたちと接し創出するということを努力して作っていき

議員 子どもの貧困が社会問題となっ

ているが困難を抱える子どもを発見する仕組みは十分か。

市長 貧困家庭の子どもを発見するに

は、家庭、保護者の経済状況が影響するので、貧困状態を脱するため自立支援法に基づきさまざまな窓口を強化し、支援につながる体制を確実に構築している。それを運用していくことが大切。

議員 要保護児童への支援は、

子育て支援課長 対策地域協議会で地域の

関係機関と情報共有を行い、基本的には見守りを続けることが主。

教育長 児童館を「居場所」から「行く場所」として親以外の大人との対話、相談できる場所と捉えている。

議員 子ども宅食についてどう考えているか。

市長 注目している事業の1つ。古賀

市でもできればいいなと考えている。担ってくれる団体や市民の皆さんがいれば、その意欲意識をしっかりとらえて、行政がサポートできることだと思っ

子育て世代にエール



田中 英輔
(山海会)

公共施設管理に市民の理解促進が不足では

答 審議会、広報などを活用し促進する

議員 本年度公共施設等を総合的に管理する計画の個別施設計画が策定されている。

本計画は、今後40年で総床面積の2割縮減などを目標にしており、施設の集約・転用・除却なども検討される。市民の理解促進への取り組みは欠かせない。

どう取り組んでいるか。

市長 市民や利用者には、パブリックコメントや審議会、広報、ホームページで理解促進を図る。

議員 計画の推進には十分な説明を図るとされていた。その後説明・調査も中止されている。

総務部長 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ヒアリング、審議会等に対応したい。

福祉センター・市営住宅などは廃止・譲渡・民間活用などが検討される。高齢化が進み住宅セーフティネットの確保、健康・生きがいづくりの場はますます

議員 必要になるが。

総務部長 老朽化している施設もあるが、将来の在り方を念頭に置きながら、計画的な維持補修などの対応を行いたい。

議員 審議会の市民委員はわずか2人で施設の転用・除却も検討される。公共施設は市民の暮らし、利用者身近なものである。理解促進は欠かせないものでその取り組みをしっかりと行うべきだ。

※その他の質問

新型コロナウイルス感染症による雇用問題、平和の継承について

築43年の「千鳥苑」年間4万8千人が利用





古賀 誠視
(市民クラブ)

インキュベーション促進改修工事の効果は

答 新たなビジネスの創出で地域の活性化

議員 インキュベーション促進改修工

事に至った経緯と求める効果は。

市長 天然温泉を有する旅館が、本年

5月に休業したが、市にとって

重要な地域資源である天然温泉

を地域振興に生かすために施設

をリノベーションし、大都市か

らの移住や定住など新たなビジ

ネスの創出や起業・創業を促進

し、多様な人材が交流する場と

して地域の活性化につなげる。

議員 薬王寺、小野地区全体の活性化

の事業展開が求められるが。

市長 天然温泉の重要な地域資源を生

かし、薬王寺・小野地域の魅力

を掘り起こし、古賀市の活性化

につなぐことが大事。

議員 河川や駐車場などの整備は。

市長 薬王寺地域の活性化の視点で放

置竹林対策に取り組む。駐車場

も不足しており、インフラ整備

を適正規模でやる。

議員 コスモス館には品物が少ないと

の意見もあり、施設を少し拡大して品物を多く並べられるようできないか。

農林振興課長 売場面積の拡大が必要と

の意見もある。市内の食品製造

企業との連携は、品ぞろえが豊

富になり大いに期待される。

議員 船原古墳から出土した馬具が国

宝級といわれるが国宝に指定さ

れるまでのスケジュールは。

文化課長 出土品全体を国の重要文化財

の指定を受けるために、令和8

年度までに報告書を作成し、そ

の後、国宝への挑戦となる。

薬王寺川を整備し市民が集える清流に



吉住 長敏

海岸保安林は公有化すべき

答 その認識はもてた

議員 海岸保安林の所有現状は。

約31ヶ所が私有で、延べ163人、

約7ヶ所が市有。

議員 松林は公有が本来では。

一定の理解はできる。

市長 保安林損失補償金の現状は。

県に確認したが今はない。

議員 新宮町の海岸線「楯の松原」の

存在はご承知か。

市長 初めて（図面を）見た。

議員 新宮、古賀、福津、宗像4自治

体海岸線で国有林がないのは古

賀市のみ。公益性がある海岸線

を私有が占めるのは異常。

市長 今回、現状をつまびらかに知っ

た。確かに公益性が高いエリア

で市民生活に意義ある空間をよ

りよき状況に考えたい。

議員 以前、国補償金が31件、年間1

54万円が支払われた。

農林振興課長 今は利益がでる保安林は

存在しない。

議員 制限を課している松林の私有状

態にいつまでも甘えてはいけな

い。問題意識を持つべきだ。

農林振興課長 地権者から要望があれば

議論を進める。

議員 問題の本質に迫るべき。大手を

振って松林の中を歩けない古賀

市の実情をはじめ、鹿部から花

見までを「弓の松原」の旗印で

「楯の松原」を参考に諸課題を

取り組んではいかがか。

市長 いいネーミングを提起いただい

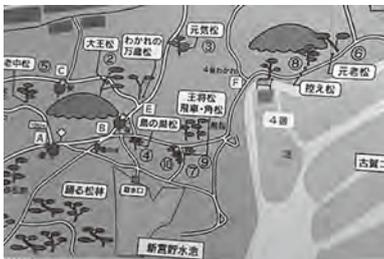
た。国県市なのかはさておき、

公有化の認識は我々ももてた。

※その他の質問

韓国新羅文化交流等

新宮町の楯の松原マップ





中野 敦史
(自由クラブ)

古賀市の農業振興について

答 生活と営農を立体的にサポートしよう

議員 本年6月に発足した農業者支援会議の効果は。

農林振興課長 相談者が抱える課題等が詳細に共有でき、きめ細かい支援の検討が可能となった。

議員 ふるさと納税の返礼品(農産物)は古賀市産を使うべきでは。

市長 農業の視点からするとJAの粕屋地区という枠組みはあるが、古賀市産というのを基本においてやっていくべきだと思おう。

議員 コスモス広場の販売スペースを生産者ごとに分けたり、基準を設け商品の差別化はできないか。

市長 売り方や品揃えの課題については利用者組合とも意見交換をししっかりと取り組んでいきたい。

議員 農業用溜池など農業用施設の維持・管理に負担があるのでは。現在、具体的な解決方法はないが「人・農地プラン」の中で解決策が講じられるよう十分な話し合いを進める。

成長戦略、販路開拓について

議員 現在の基盤整備の状況は。

市長 「薦野清滝地区基盤整備事業」では令和4年度に事業採択を目標として開発支援を行っている。

議員 行政と他の団体等が連携し施策推進する体制が必要なのでは。

市長 農業者支援会議を軸として普及センター等と連携し技術支援。農産物、6次化商品の、流通チャネル構築に向けた戦略は。

議員 実行委員会等で検討している段階。好評であった注文販売の手法をベースに連携を検討。

流通チャネル構築に向けた戦略は重要



村松 謙二
(市民クラブ)

AI型オンデマンドバスを調査研究すべき

答 デマンド型交通体系も研究したい

議員 古賀市地域公共交通網形成計画では、西鉄バス古賀市内線とコガバスの一体的な見直しを行うとのことだが、どのような形で

市長 既存の住民組織等を活用し、地域協議会を立ち上げたいと考える。

議員 今回の見直しでは、新たな交通手段も柔軟に検討すべきでは。

経営戦略課長 西鉄路線バスの維持が基本で、それに対応できない移動ニーズは、違う手段で対応する。

議員 バス会社の課題は、運転士の不足や利用者減少による採算悪化と言われている。この現状では古賀市内路線バスの撤退もありうる。想定や準備はしているか。

経営戦略課長 西鉄とは定期的に話し合える機会を持つており、短いスパンでは現状を維持していく考えと聞いている。

議員 令和2年3月末、宗像市日の里地区で運行している西鉄バスが

令和3年3月末で廃止したいと申し出があったが、その代替バスとしてワンボックス車両8人乗りでAIを活用したオンデマンド型バスを運行する予定。これまで日の里地区のバス停は14カ所あったが、新たな計画では、バス停が63カ所にも増えるとのこと。つまりバス停までの距離が格段に近くなる。スマホを使えば、行きたい時や帰りたい時に最寄りのバス停で乗降できる仕組みになり、利用者ニーズを反映した地域公共交通になる。古賀市でも研究すべき。

西鉄・AI型オンデマンドバスとは

宗像・日の里地区で実証実験される西鉄バス・AI型オンデマンドバスとは？

- ◎あなたが乗りたい時に、スマホのアプリや予約電話で呼べる新しい「バス」
- ◎出発地と目的地を入力して、あとはミーティングポイント(乗り場)に行くだけ！



平木 尚子
(公明党)

「快適安心都市 しが」へつなぐには

答 価値観の変容を取り入れたまちづくりを

議員 高齢者にもやさしい日常生活の支援について、どう考えるか。

市長 新しい生活様式を取り入れながら、健康で安心した生活につながる支援が必要と考える。

議員 地域消費喚起に「PayPay」を活用した理由とどこに重点を置いた施策だったのか。

市長 地元の、特に小規模の事業者を支援すること。キャッシュレス・ポイントの付与が入るので生活者支援の視点での消費喚起。非接触型の社会を広めるためのキャッシュレス普及促進の政策。

議員 「PayPay」では特に高齢者が使えなかった。第2弾として誰でも使えるプレミアム付き商品券を発行しては。

商工政策課長 古賀市においてはさまざまな課題もあることで、プレミアム付き商品券の事業を行う予定はない。

議員 非接触型等に対応するためのスマートフォン等ICT（情報通信技術）機器の使い方の方の助言を伝授する場をつくっては。

市長 高齢者がデジタルに対応できる地域社会を作るサポートをする重要性を認識している。しっかりと検討していく。

議員 古賀市で不妊、不育に関する相談窓口はできないか。

保健福祉部長 子育て支援センターで一定の支援が受けられる。

議員 子育て支援アプリのその後は、はななく市全体で考えている。

子育て支援課長 子育てに特化したものではなく市全体で考えている。

近隣市の商品券発行おしらせチラシ



奴間 健司
(友和)

2021年をSDGs元年の気構えで共走を

答 このまちがより高めめさせる仕事をした

議員 SDGsは危機の時代の羅針盤。課題解決に向けて力を合わせて共に走る「共走」で行きたい。

市長 普遍性と包摂性は大事であり議員の提起は共有するところ。

議員 SDGsをどう認識しているか。

市長 2030年までの国際目標で、誰一人取り残さない社会をめざし、健康と福祉、気候変動など17のゴールが設定。まちづくりにとって大変重要であり、市が行う全ての取り組みは17の目標に係る行動になりうると理解。

議員 小6と中学生はSDGsについて教科書で具体的に学んでいる。通告があり現物を見て知ったが非常に有意義だと思う。

古賀市的なSDGsストーリー

議員 花見小と小野小に太陽光と蓄電池を設置しCO₂削減に貢献していることは市の強み。2030年までに全校に導入を。国の新たな目標にも合致している。

市長 財政状況もあるが再生可能エネルギー活用は知恵を絞りたい。

議員 東医療センターや看護大、農家や企業、飲食店やジム、市民団体を核に医・食・運を旗印とした「SDGsオールしが健康大作戦」を展開してはどうか。

市長 提案は受け止めたい。学ばせていただく念頭に置いて取り組む。

議員 宗像市、福津市に学びSDGs未来都市をめざしてはどうか。

市長 現時点では予定はないが国の動向を考慮して判断。好事例を参考にすることは有意義である。

「SDGs オールしが健康大作戦」を提言



総務

委員会

10月26日

委員長 内平 晃二
清原 哲史 吉住 長敏
副委員長 井之上 豊
村松 謙一 田中 英輔

公共施設等の

管理計画について

問

以前示された公共施設等総合管理計画アクションプランのスケジュールでは、住民アンケートが予定されていたが、今回は記載がない。どう思うか。

答

アクションプランの策定は、コロナの影響もあり若干遅れ気味で、アンケートは利用状況等を把握することが目的であるため、各課の資料で把握することとし、今回は見送る。市民の意見については、パブリックコメントや審議会の委員を市民から2人選出するようになっているので、その中で意見を出してもらい合意形成を図っていききたい。

管財課

国際交流・多文化共生

問

台湾との国際交流では、領事館の方も含めたくさんの方が古賀市を視察されたとのことだが、どのような感想を持たれたのか。

答

古賀市の歴史、特に船原古墳の国宝級の文化財に驚き、こういう素晴らしいものもつとPRしたほうがいいとの声や、薬王寺温泉の自然の豊かさ、コスモス広場の農産物を見て、改めて古賀市の素晴らしさを知ったという声があった。

問

外国人支援冊子をリーフレットに変更するのはなぜか。

答

①古賀市について、②生活情報、③緊急時の病院や防災関係の3部構成とし「伝える」から「伝わる」を意識した。

まちづくり推進課

常任委員会報告

台風9・10号への対応

問

台風9・10号について、7月豪雨の時も避難が発生したが、今回どう生かされたのかを含め総括はどうなっているのか。

答

避難所を早い段階から開設し、職員の配置など協議しており、7月豪雨の反省が生かされた。一方、これまでに経験したことのない避難者数であり、対応については課題が残った。課題については、担当した教育部、市民部から意見を集約中であり、今後の災害対策に生かしていきたい。

問

避難所のコロナ対策は、密にならないよう避難所対策をした結果、想定した人数に達する前に避難所が逼迫し、2カ所の避難所の受け入れを一旦停止した経緯があり、避難所での配置等をあらかじめ考えることにより、もう少し対応できたのではないか。

答

避難所のコロナ対策は、密にならないよう避難所対策をした結果、想定した人数に達する前に避難所が逼迫し、2カ所の避難所の受け入れを一旦停止した経緯があり、避難所での配置等をあらかじめ考えることにより、もう少し対応できたのではないか。

総務課

地域公共交通

問

西鉄バスの利用者が現時点で、約3万8千人減となり、費用面では半期で約900万円の減収になっている。運行に当たっては、当然費用的な問題も出てくるのでは。

答

定期券収入が入っていないが、これを含めたとしてもかなりの減収になる。これは、古賀市内線に限ったことではなく、公共交通全体がこのような状態になっており、少なくとも交通事業者が経営を維持できる程度までは支援することを考えている。

問

コガバスのルートを延伸して乗客も増えた。高齢化率が高い花鶴団地まで延伸すべき。

答

地域公共交通網形成計画では、西鉄バス古賀市内線とコガバスの一体的見直しをうたっており、西鉄バスは入っていけないが、コガバスだったら行ける場所もある。地元と協議し進める。

経営戦略課

文教厚生

委員会

10月28日
30日

委員 長	平木 尚子	副委員 長	伊東 洋子	委員 長	奴間 健司
	福崎 トビオ		紙谷 由香		松島 岩太

地域包括ケアシステムの 充実に向けて

第1地域包括支援センター
(古賀中学校区) 福岡聖恵病院内、
第2地域包括支援センター(古
賀北中学校区) サンコスモ内、
第3地域包括支援センター(古
賀東中学校区) 青柳町の賃貸物
件に決定。

問 来年度から委託型となる3
法人の決定打は。

答 三者三様、医療、地域福祉、
障がい者、介護施設の運営
実績などの強みと特徴を生
かした運営が図れること。

問 今後の認知症対応について。
答 取り組みの柱として「認知
症の理解促進」「認知症の
人との共生と予防の推進」
を掲げ取り組んでいく。

介護支援課

コロナ禍での 子どもの状況は

問 あすなる教室と不登校の状
況は。

答 あすなる教室の利用について
の周知は全児童生徒にでき
ている。指導が充実してきた
学校内の指導教室、支援教
室の参加者が増えている。

問 中学3年生へ貸与したタブ
レット端末の活用状況は。

答 特に塾に通うことのできな
い生徒にとって有効に活用
されており、塾通いの生徒
にも広がっている。

問 GIGAスクール構想の進
捗について。

答 ネットワーク工事の配線は
終了。WiFiアクセス
ポイント等の機械設置が12
月に工事を終了し1月導入。

学校教育課

子育て世代応援

ミニつどいの広場について、
4月から中止していたが7月
から再開。ブックスタートと
わんぱくTimeは7月から
再開。7か月つ子広場、1歳
誕生広場、2歳元気つこ広場
は8月から再開。それぞれ事
前申し込み制にて実施。

問 保育所の待機児童について。

答 10月で30人。一番の原因は
保育士不足。今後の見通し
は昨年度と同様、年度末に
向けて少しずつ増えている
傾向と考える。

問 コロナ禍でのDV、虐待な
ど子どもへの影響について。

答 相談件数はさほど増えてい
ないが、一時保護の件数が
増えてきている。



子育て支援課

市民の健康サポート

問 ヘルス・ステーションの活
動および設置状況について。

答 13行政区が設置。健康推進
委員やヘルスマイトが安心
して活躍できるよう、感染
防止対策を徹底した上で地
域活動を活性化させていき
たい。

予防健診課

施設工事の 今後の取り組みは

問 古賀北中学校の大規模改造
工事設計委託について。

答 施設の多目的な利用、複合
化への対応も進めながら生
徒が安全・安心に学べるよ
う取り組む。トイレの洋式
化、床の乾式化、ユニバー
サルデザインを含む全面
改修で、衛生面、生活面の
向上を図る。

教育総務課

市民建産

委員会

10月23日
11月 5日

委員長	中野 敦史
古賀 誠視	渡 孝二
副委員長	森本 義征
内場 恭子	竹下 司津男

猟友会の現状について

問 現在高齢化が進み、人数がかなり減っているとのことだが、現在の猟友会の人数、今後の対応・対策はいかに。

答 現在の猟友会の人数は13名。猟友会の高齢化に向けた対策として、若手農業者に対して、狩猟免許の取得や猟友会への加盟を勧めているところではあるが、劇的な効果は見いだせないところである。猟友会のみならず農業分野においても高齢化が進んでいることから、同時に対策を講じていかなければならないとのこと。



農林振興課

市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料収納状況、滞納処分について

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、収税が滞っていないか。

答 前年度並みの収納率であり、推察では国民健康保険税については減免されていることから、収納率にはそこまで影響していないのではないかと判断している。

問 減免や納税の延期について、まだ把握していない方が多いとの声を聞く。PRが必要だと思うがいかがか。

答 納付相談などで収納管理課へ来庁された際には、減免制度のほか、減免制度に該当しない場合であっても、徴収猶予の制度の案内も行っているとのこと。

収納管理課

地球温暖化対策の取り組みについて

問 公共施設における地球温暖化対策への取り組みに対して環境課の考えは。

答 地球温暖化対策等委員会に代表事務局が環境課にあり、省エネや地球温暖化に対する情報が環境課に多く集まることから、その情報を環境課だけにとどめず、他課とも連携を深め、市全体で推進していきたい。

問 温室効果ガス排出量の削減目標について、国は2050年までにCO₂の排出ガスゼロを計画しているが、2030年度までの削減目標に影響があるのか。

答 古賀市地球温暖化対策実行計画は、国連会議における日本の目標値と併せて設定しており、2030年度までの目標に変更はない。今後も国の動向等を見て検討を進めていきたい。

環境課

JR古賀駅西口エリアの活性化に向けたマネジメント支援委託

問 エリアマネジメント支援委託について、選考結果が1位と他の2社との間に点数差がかなりあるが、どこが優れ、どこに期待したのか。

答 業務実績が一番多く、また契約期間終了となる3年後の関わり方の質面で良い回答を得られた。決定した業者はこれまで宮崎県日南市などでの事業実績があり、事業期間終了後も自ら関わりを持ち、経営参画を行っている。ファシリテーターとしても期待しているが、マネージャーやプレイヤーとして関わることができるところも評価している。



商工政策課

一部事務組合議会報告

議長 結城 弘明

玄界環境組合議会

令和2年11月16日第2回定例会。
平成31年度決算。歳入は経常および創設費分担金約23億5千万円、歳出では工場管理運営費計21億2千万円。歳入総額約28億9千万円、歳出総額28億1千8百万円、賛成全員で可決。



玄界環境組合古賀工場

粕屋北部消防組合議会

令和2年12月25日定例会開催。平成31年度一般会計、休日診療会計決算の審議。平成31年度一般会計歳入約11億2千万円、歳出11億円。賛成全員で可決。職員採用では男女各1名。令和3年度より勤務の報告。



北部消防引き揚げ訓練

議会研修会

環境課を講師に地球温暖化対策を学ぶ

昨年9月18日古賀市の地球温暖化対策について議会研修会を開催。市の環境課に講師をお願いしました。

クイズ形式で温暖化の現状を学んだあと、地球温暖化対策実行計画（事業編）について詳しく説明。古賀市は2013年度を基準とし、2030年度までに温室効果ガスを40%削減する目標を設定。空調の更新や省エネ、LED化等を推進しています。カーボン・マネージメントシステムで進行管理していることも報告されました。地球温暖化対処には「緩和」（再生可能エネルギー活用など）と「適応」（熱中症予防など）のバランスが必要であることも学びました。



古賀市の温室効果ガス削減目標を説明

なお、今年1月19日には正興電機製作所を講師に、企業における地球温暖化対策や蓄電池活用について政策推進議会研修会を開催しました。

新年のあいさつ

市民の期待に応える議会をめざして

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと思います。本年は今後10年間の歩みを決める第5次総合計画策定に着手します。少子高齢化と人口減少の中、執行部と議論しながら持続可能な農商工の振興と人づくり、健康づくりの安心安全なまちづくりをめざします。

古賀市議会議長 結城 弘明

議会においては、市民の声を届けることはもちろん、議会の「見える化」のための情報化促進など議会改革を推進してまいります。

今や、新型コロナウイルス感染症の猛威により、社会や生活様式は想定外の変化に直面しています。本年は課題多き年ですが、皆さまにとりまして素晴らしい年であることを願います。頭の挨拶といたします。

よいこと古賀市へ

古賀市議会は通常多くの市町村から視察を受け入れています。今回は感染症の影響により1自治体からオンラインによる視察を受け入れました。

令和2年11月4日

議会改革、

議会基本条例などについて

- 受入自治体…福岡県糟屋郡志免町
- 受入団体…議会運営委員および議長
- 受入人数…7人

視察受け入れ

今年度の議会報告会は中止とさせていただきます。

市民と顔を合わせ、市政に対するさまざまな意見をいただく場として開催してきましたが、今年度の開催につきましては、議会報告会幹事会、全員協議会で検討を行った結果、市民の健康と生命を守る立場として、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大変残念ですが、断念せざるを得ないという結論になりました。開催できる状況になった時は、改めてお知らせをさせていただきます。

第4回定例会の傍聴者は22人でした。ありがとうございます。

第1回定例会は2月26日（金曜日）開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



26	23	22	19	18	16	15	11	9	8	5	4	3/3	2/26	日
金	火	月	金	木	火	月	木	火	月	金	木	水	金	曜
本会議（最終日）	予算審査特別委員会	一般質問	一般質問	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	補正予算審査特別委員会 予算審査特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	本会議（2日目）	本会議（初日）	会議名
開議時刻は全て9時30分～														

注) 会期日程は、2月22日（月）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
 （本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席ですがコロナ禍により減席しています）
 ◎請願書の締切りは2月18日（木）午後5時です。

令和3年 古賀市議会
 第1回定例会会期日程（案）
 会期 2月26日～3月26日 29日間

編集後記

表紙の言葉
 感染拡大防止のため、今年の成人式は3中学校に分かれて開催されました。今までになかった母校での成人式では、マスクの中で多くの笑顔が溢れていました。

コロナ禍において行政をはじめ、各地域のさまざまな行事が中止や延期になりました。続いてきた伝統、人と人のつながりが大切なことだったと改めて感じています。この原稿を書いている時は、まだまだ終息の兆しが見えていない状況ですが、支え合い、協力しながら、この困難を乗り越え、この街の未来、これからも変わらない愛情を抱いた故郷づくりを、みんなで取り組んでいけるようにと願っています。（福岡）

議会報編集常任委員会
 委員長 福岡トビオ
 副委員長 平木尚子
 委員 清原哲史
 委員 内平晃二
 委員 竹下司津男
 委員 紙谷由香

